見える化のススメ

DPC公開データと 可視化サービスの登場

診療現場で役立つ「見える化」をテーマにしたこのコーナー。この度装いも新たに2シーズン目の連載を始めたいと思います。題して、「見える化のススメ・セカンドシーズン~DPC公開データを経営戦略に活かす~」。診療情報の「見える化」がどこまで進み、個別の医療機関あるいは地域においてどのように活用されているのか、具体例を交えながら紹介していきたいと思います。

医療における情報の「見える化」が進んだ最たるものとして"DPCデータ"があげられるのは前連載でもお伝えしてきました。"DPCデータ"とは、①▼分析可能な全国統一形式の患者臨床情報であり、▼診療行為の電子データセットである②患者臨床情報は、▼患者基本情報、▼病名・術式・各種のスコア・ステージ分類、からなる③診療行為情報は、▼診療行為・医薬品・医療材料、▼実施日・回数・数量、▼診療科・病棟・保険種別、で構成され、1入院中のプロセス(いつ、何を、どれだけ行ったのか)がわかる(*1)、と定義されています。

厚生労働省はこの"DPCデータ"を、全国1,753にの ぽるDPC対象病院および準備病院(*2)から収集し解 析を行っています。解析内容はおもに、施設類型別の状 況・医療機関別の状況・診断群分類別等からなり、解析されたデータは診療報酬改定の基礎資料として活用されています。平成24年度の診療報酬改定においても、DPCの制度改定そのもので使われたのはもちろんですが、それ以外にもいくつかの項目で"DPCデータ"が基礎資料として利用されたとみられます。

その代表的なものが、「金曜日入院・月曜日退院の割合の合計が高い医療機関に対する土曜日・日曜日に算定された一部の入院基本料の減額措置」(図1)になるでしょう。中医協で行われたこの議論の過程において厚労省から出された入院・退院曜日別の患者割合および平均在院日数については、まさに平成21年度の"DPCデータ"から集計されたものでした。(図2)

【図1】

効率化の余地のある入院についての適正な評価① 土曜日・日曜日の入院基本料について 金曜日入院、月曜日退院の者の平均在院日数が他の曜日の者と比べ長いことを勘 素し、金曜日入院、月曜日退院の割合の合計が高い医療機関について、土曜日、日曜 日に算定された一部の入院基本料を8%減額する。 [対象系準規則] (①と②両方を調化す所変機関) ① 一般病律入院基本料、特定機能病院入院基本料及び専門病院入院基本料を算定する医療機関。 入院全体のうち全曜日に入院する者の割合(A割)と、道院全体のうち月曜日に遺院する者の割合(B割)の 会計(A+B)が6か月連続して、4無を超える医療機関。 「浦陽の計像となる入間基本料」 一般病種入院基本料(特別入院基本料等を含む)、特定機能病院入院基本料及び専門病院入院基本料 の55、金曜日に入除した者の入院直接の土曜日、日曜日及び月曜日に退除した者の退院直前の土曜日。 日曜日に算定されたもの 78.0 20 退險 3 AR ② 対象日に手折や1,000 点以上の処置を伴わない場合に限る [経過措置] 上記の取り扱いについては、平成24年10月1日から施行する。

■ 図1:「平成24年度診療報酬改定の概要」厚生労働省保険局医療課(2012.3.5)

【図2】

入院曜日、退院曜日毎割合 (DPC参加病院)

→退院曜日 人院曜日	±	n	Я	*	水	*	±	AMERIE
±	0.9%	0.7%	1.0%	1.1%	1.0%	0.9%	0.9%	635
п	0.7%	0.3%	0.9%	125	1.0%	0.8%	0.8%	585
л	2.9%	1.2%	2.2%	4.1%	4.65	3.2%	3.2%	21.6%
×	2.7%	LIN	2.0%	2.2%	3.95	4.0%	3.25	19.25
*	2.85	1.25	1.9%	2.1%	2.0%	3.6%	4.15	17.75
*	3.95	1.35	2.0%	2.0%	1.85	1.75	3.5%	15.75
*	3.2%	1.2%	1.95	2.0%	1.85	1.8%	1.8%	13.5%
追院日計	16.75	7.1%	11.95	14.7%	16.1%	15.8%	17.6%	100:0%

■ 図2:中医協資料「宿題事項について」(2011.12.14)

出典:平成21年度DPCデータ

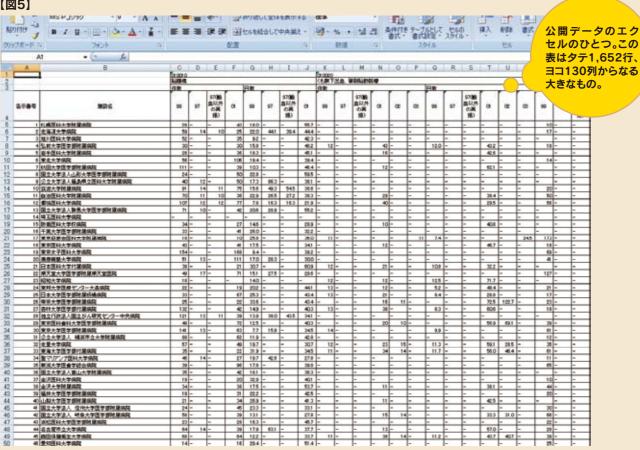
さて厚労省は、"DPCデータ"を収集・解析したのち、 診療報酬調査専門組織(DPC評価分科会)において 「DPC導入の影響評価に関する調査」として国民向け に年一回、集計した"DPCデータ"をホームページで公 開しています。(図3~5)



【図4】



【図5】



■図3~5:厚生労働省ホームページ「平成23年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第1より、DPC導入の影響評価に関する 調査結果について(平成22年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告概要案)

http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001u23a.html

Second season-01 見える化のススメ

ご覧のとおり公開された"DPCデータ"は、データの種類が多岐にわたるうえ、ひとつひとつの表も膨大な大きさになるため取り扱いにくく、また、年次ごとの公開のため時系列で追うのに適していません。結果として、DPC公開データは大変有用なデータなのだが医療関係者にとっては使いづらい、また多くの国民はその存在すら知らない、というものでありました。

そこで、近年インターネット上に登場してきたのが DPC公開データの可視化サービスです。膨大で見づ らいデータをグラフを多用することでわかりやすく表現 してくれる、そんなサービスです。代表的なものに「病院情報局」と「リーズンホワイ」があります。「病院情報局」は㈱ケアレビューが2010年3月より運営している一般向け無料サイトです(図6)。一方「リーズンホワイ」は㈱リーズンホワイが2010年8月にサービスを開始した一部有料のサイトです(図7)。(サービス開始時はペイシェント・ジャーニー合同会社)。当連載では、この中から「リーズンホワイ」を取り上げて皆様にご紹介していきたいと思います。



■ 図6: 「病院情報局」 URL: http://hospia.jp/

【図7】 R 5-70/604 ~ HEMBERGS = + C O rescrivity b' 4 4 ReasonWhy + 会性情報 - メディア開催 - 中国人実施 - 中海外に合わせ TOPICS →コンセプト 2011 11 09 (子元子) 2018年 ロヤン神道分割をのグ ーラクを新しました(一つちが) 2011 11 08 (本記記 国際開発を食い込むより 月 同れ両書・献金がか年とむる Med → 導入のメリット mile tone Mi. Findings →わかること 2011.10.09 (日日日) 根が協力性療力研集と2012年 計博・介護権制等も状況主義も 201 User Case →ユーザーの声 2011 0729 (FG) 54757 (ACBE D-ARCUARTY 2474 (ACBE) Price & Purchase → 価格と購入方法 Documents Request → 資料請求・早積り依頼 2011 0710 (123) (投資)たための保証」から進 (投資)たための保証」から進 防心等を実践する「投資」へ に最終正常役置(Manasala)、一二等 Serainor → 建済・セミナー信仰 係本にある場所にでは、それぞれが当かとする疾患がわかれており、 地域全体として質の高い疾患が発生されていると推測されます。 医療機能が係款エクセル ドウンロードはこちらへ11 →ライセンス版ログイン Opened ReasonWhy

→ 公開版ReasonWhy テレビ業章 WHS特集 事でするフニッポンの報 お申し込みは 東北地方太平洋沖禁器 復興計能への基礎レポー こちらをクリック!! +3イヤン2所上は関係の機能に収集 +2・ザーマニコアル 口軽ビジネスオンラインSPECIAL 福州を共の力をし込み 内間のからのカチレスス

■ 図7: 「リーズンホワイ」
URL: http://reasonwhy.jp/

はじめに「リーズンホワイ」とはどういったサービスな のでしょうか?「リーズンホワイ」のホームページを見 ると次のようにまとめられています。

1.リーズンホワイとは…

厚労省は2003年から、新しい診療報酬制度であるDPC対象・準備病院のデータを公開しています。 これらのデータをはじめ、官公庁が公開するデータ を簡単に分析し、「見える化」するのが「リーズンホ ワイ」です。

2. リーズンホワイの特徴

インターネットで提供される「リーズンホワイ」は、全国各地の地域医療の現状と未来をグラフやチャートで一目瞭然でわかりやすく提供することが特徴です。周辺の地域や医療圏を柔軟に組み合わせて、疾病別の分析ができることも「リーズンホワイ」の特徴です。

3. 医療社会全体を良くすることがミッションです

地域医療の現在と未来が見える化されることで、 行政は、地域で必要な医療資源の総量と配分を把握できるようになります。個別の病院は、現在提供している医療と地域のニーズとのギャップを知ったうえで、経営戦略を立て、経営を健全化できます。 「リーズンホワイ」による地域医療の見える化は、行 政と病院を通じ、最終的には、そこに暮らす人々の 暮らしの質を向上させることになります。

「リーズンホワイ」が参照しているデータはDPC公開データのほかに、国立社会保障・人口問題研究所の市区町村別男女5歳階級別データや、「地域保健・健康増進事業報告―健康増進編―」の検診対象者数・受診者数・受診率、市区町村等も使用されています。また、直感的でわかりやすいグラフ、アニメーションのように動いて視覚に訴える表示、などが大きな特徴であります。「リーズンホワイ」を使って何がわかるのかといえば、ひとことで言えば、地域の中で病院相互の動態を把握しながら自院の立ち位置が客観的にわかる、となります。これが判った上でどう使うかというと、『自院の経営戦略の立案』に他なりません。このあたりの具体的な活用法については次号以降の連載で明らかにして参ります。

このように、本連載はDPC公開データの可視化サービスである「リーズンホワイ」を利用することによって、医療機関・施設の経営にどう役立てていくかについて、具体例を紹介しさらなる可能性を探るための連載であります。次号以降は、㈱リーズンホワイ代表取締役の塩飽哲生氏にご登場頂き、以下のような予定で進めて参ります。どうぞご期待下さい。

〈次号からの予告〉

●タイトル

【第2回】 ここまでわかる!! 地域の医療ニーズ

【第3回】 ここまでわかる!! 競合病院の経営戦略

【第4回】 5年後の経営戦略を立てる。その方法はいかに

【第5回】まとめ

●塩飽哲生氏プロフィール

東京大学工学系研究科において質と安全を確保するための病院のマネジメントシステムに関する研究に従事する。 その後医療系コンサルタント会社、病院の事務次長を経て、2009年よりペイシェント・ジャーニー合同会社 (現株式会社リーズンホワイ)を立ち上げる。(立命館大学非常勤講師)

●株式会社 リーズンホワイ

〒107-0052 東京都港区赤坂7-3-37 プラース・カナダ1階 TEL:03-6894-7493 FAX:03-6894-7701 http://reasonwhy.jp/



(注釈)

- *1:「DPC研究班夏期セミナー」資料より抜粋。北海道大学病院地域医療指導医支援センター 藤森研司センター長(2011.8.8)
- *2:H24年4月現在の見込み数 DPC対象病院数1,505病院、DPC準備病院数 248病院、合計1,753病院。中医協資料[DPC制度(DPC/PDPS)に係る医療機関の手続き等について(案)]より(2012.3.28)